

第2章 調査研究の目的と進め方

1．調査研究の目的

本調査研究は、企業におけるフリーターや既卒者を含む、若年者の雇用機会の確保等を促進するため、主に次の二点を目的に実施した。

- (1)フリーターや既卒者を含む若年者の雇用機会の確保等を促進するための着眼点を得る
- (2)調査結果をもとに、企業に向けて若年者の雇用についてより積極的に取り組めるような啓発ツールとして好事集を作成する

2．調査研究の進め方

本調査研究は、企業に対するアンケート調査と、及びヒアリング調査（企業事例研究）によって行った。それぞれの調査研究の進め方の概要は次のとおり。

(1)アンケート調査の実施

調査名

- ・「若年者の雇用機会の確保等についての企業等からの好事例の収集に係る調査研究事業」

調査対象

- ・帝国データバンクの企業情報から、1万社を無作為抽出

調査内容（付属資料参照）

- ・フェイスシート（企業規模、業種等）
- ・フリーターや既卒者の募集・採用状況について
- ・非正規社員の正社員登用の状況について
- ・新卒なども含む若者の受け入れや定着の状況について

調査期間

- ・平成20年5月20日～平成20年6月3日

調査方法

- ・郵送による調査票の配布・回収

回収数および回収率

1)回収数：2,108 票

2)回収率：21.08%

アンケート調査実施機関

株式会社 産業社会研究センター 石原、菅野

(2)ヒアリング調査（企業事例研究）の実施

ヒアリング調査対象

- ・上記（1）のアンケート調査結果をもとに、より効果的な取組をしていると思われる企業40社を選定

主なヒアリング項目

- ・企業概要
- ・環境変化への認識と経営課題
- ・自社の人材ニーズ
- ・人材確保の考え方とその変遷
- ・フリーターや既卒者の採用活動の現状とプロセス
- ・フリーターや既卒者の受け入れ、定着策について
- ・現状の課題と今後の方向性

ヒアリング調査期間

- ・平成20年6月4日～平成20年8月20日

ヒアリング調査方法

- ・企業訪問による聞き取り調査

| | |
|------------|--|
| 対象数 | 40社 |
| ヒアリング方法 | 経営者および人事担当者の個人ヒアリング |
| ヒアリングの主な項目 | 企業概要 環境変化への認識と経営課題 自社の人材ニーズ 人材確保の考え方とその変遷 フリーターや既卒者の採用活動の現状とプロセス フリーターや既卒者の受け入れ、定着策について 現状の課題と今後の方向性 |

ヒアリング調査実施機関

株式会社 産業社会研究センター 石原、菅野